

■ 財政分析について

◆ 平成18年度一般会計決算について県内の市との財政状況を比較しました。

-  大丈夫!
-  通常・・・
-  危ない?



経常収支比率



実質公債費比率



起債制限比率



財政力指数

下野市	87.8%	17.4%	12.8%	82.6%
宇都宮市	84.0%	12.2%	10.5%	102.9%
足利市	93.0%	18.4%	12.8%	73.8%
栃木市	90.6%	17.2%	12.9%	76.6%
佐野市	85.4%	14.0%	10.3%	76.1%
鹿沼市	87.8%	12.1%	9.5%	73.5%
日光市	93.5%	14.5%	13.0%	67.9%
小山市	84.3%	17.1%	11.9%	99.0%
真岡市	75.8%	16.5%	10.4%	97.2%
大田原市	90.0%	13.3%	9.1%	72.4%
矢板市	90.1%	15.4%	8.4%	82.6%
那須塩原市	96.2%	15.5%	12.1%	86.1%
さくら市	87.2%	15.7%	8.6%	75.8%
那須烏山市	89.8%	16.3%	10.1%	46.9%
栃木県市平均	88.3%	15.4%	10.9%	79.5%

● 経常収支比率 (使いみちの決まったお金)

- 70～80%・・・適正
- 80%以上・・・注意 (財政が硬直化している)

税などの一般財源を、人件費や扶助費、公債費など毎年必ず支払う経費にどの程度充当しているかみるもので、財政の健全性を判断します。今年度の経常収支比率は87.8%で、前年度の87.4%を0.4ポイント上回っています。

● 実質公債費比率 (全会計の借入金返済の割合)

- 18%以下・・・望ましい
- 18%を超えると・・・注意

借り入れた地方債の返済金である公債費が、税などの一般財源に占める割合を「実質公債費比率」といいます。この指標は、返済金が市の財政を圧迫していないかを示しています。この数値が18%を超えると借入に県の許可が必要になり、25%を超えると制限されます。今年度は17.4%で、前年度の17.0%を0.4ポイント上回っています。

● 起債制限比率 (借入金の割合)

- 15～20%・・・要注意
- 20%以上・・・危険

現在、借入れている借入金「公債費」による財政負担の度合いを判断する数値です。この数値が20%を超えると市債の発行が制限されます。今年度は12.8%で、前年度の13.0%を0.2ポイント下回っています。

● 財政力指数 (お金の調達力)

- 100%に近いほど余裕がある

地方公共団体の財政力を示す指標で、行政活動に必要な財源をどれくらい自力で調達できるかを表し、数値が高いほど財政に余裕があります。今年度は82.6%で、前年度の78.4%を4.2ポイント上回っています。

■ 財産の状況

区分		平成18年度末
土地	行政財産	156万3千㎡
	普通財産	18万1千㎡
建物	行政財産	17万7千㎡
基金	財政調整基金	17億2,937万円
	減債基金	6億6,731万円
	地域づくり事業推進基金	4億2,201万円
	庁舎等整備基金	6,698万円
	公共施設整備基金	3億9,422万円
	地域振興基金	15億5,058万円
	地域福祉基金	4億2,573万円
	保健福祉施設整備基金	4億4,092万円
	グリーン保存育成基金	289万円
	土地開発基金(現金)	4億9,069万円
	国民健康保財政調整基金	8億3,287万円
	介護給付費準備基金	1億392万円
	高額療養費資金貸付基金	1,000万円
	基金合計	71億3,749万円

◆ 1人当たりの基金の貯蓄高

119,869円



■ 市税の負担状況

1人当たり



144,153円

62,713円

66,220円

1,177円

6,211円

7,832円

1世帯当たり



市税全体

市民税

固定資産税

軽自動車税

たばこ税

都市計画税

420,387円

182,886円

193,116円

3,433円

18,111円

22,841円